

2020年度「人間と地球のふれあいセミナー」企画

フィリピンの子どもたちへ 応援の気持ちを届けよう



電力総連では、毎年6月に「人間と地球のふれあいセミナー」を開催し、フィリピン国での植林ボランティアや現地での交流を実施しています。しかしながら、日本国内だけでなくフィリピン国においても新型コロナウイルス感染症の終息が見られず、海外渡航が難しいことなどから、昨年に引き続き、本年も現地での活動は中止となりました。

このような状況の中、本セミナーの目的である環境保全への意識付けはもとより、現地（フィリピン国ヌエバビスカヤ州）との交流を絶やさないために、コロナ禍における現地の状況や要望を踏まえ、フィリピンの子どもたちへ応援の気持ちを届ける活動を展開いたします。皆さまのご協力をよろしくお願いします。



フィリピン国
ヌエバビスカヤ州



【フィリピン国の状況】

フィリピンでは、新型コロナウイルスの感染が昨年8月頃に第1波のピークを迎え、その後減少傾向になっていましたが、今年に入り再拡大し始めました。特に、3月中旬以降は、変異株が急速に広がり、第1波のピークを遥かに超える勢いで拡大しています。

従来は、ふれあいカンパを通じて、(公財)オイスカが進める現地の子どもたちによる学校単位の植林活動への支援を行ってありますが、現在は学校での取り組みが制限されているため、家庭での苗木や野菜の植栽など可能な形での環境保全活動を推進しつつ、現地の状況に即して、教育支援や感染対策支援も合わせて行っている状況です。

このような中、子どもたちの学習環境も大きな影響を受けており、特に、「人間と地球のふれあいセミナー」で訪問を予定していたヌエバビスカヤ州の子どもたちは、ネット環境が悪いことから、オンライン学習は難しく、学校から出されたプリント課題に家庭で取り組むモジュール学習という方法で学習しています。

しかし、家庭ごとに学習環境は異なり、十分な資料を用意できない子どもたちも多くいます。また、在宅学習が続き、他者とのコミュニケーションが希薄になることで、勉強に対する意欲が低下するだけでなく、人格形成への悪影響も懸念されています。



募集 自宅に眠っている文房具・感染症対策品をお寄せください

構成総連・加盟組合の組合員とその家族の皆さまから、家庭にある文房具や感染症対策品を集めさせていただき、厳しい状況の中でも、懸命に勉強を続けているフィリピンの子どもたちに届けます。

また、現地の子どもたちに対する応援メッセージを寄せていただくと幸いです。

【文房具の例】※未使用のもの

鉛筆、消しゴム、鉛筆削り(手動/ミニサイズ)、ボールペン、カラーペン、蛍光ペン、色鉛筆、クレヨン、ものさし、筆箱、スティックのり、付箋、ノート(罫線もしくは無地タイプのもの)、ホチキス、クリップ、クリアファイル

【感染症対策品の例】※未使用のもの

石鹸、タオル、ハンカチ、マスク(手作り含む)



現地からの動画メッセージ公開中!

植林活動の概要や現地の状況について、動画メッセージを配信していますので、ぜひご覧ください。

URL <http://www.oisca.org/denryokusoren/>



取り組み期間 (ご記入・ご入力ください)

※詳細は組合役員にお問い合わせください。

令和3年7月14日(水) 電力総連必着